

平成 23 年 11 月 15 日

【照会先】

大臣官房 統計情報部 賃金福祉統計課

課長 代田 雅彦

課長補佐 松戸 珠子

賃金第一係

(代表電話) 03(5253)1111(内線 7656, 7634)

(直通電話) 03(3595)3147

平成 23 年「賃金構造基本統計調査（初任給）」の結果 ～ 大学卒（男女計）の初任給は、前年比 2.3%増の 202,000 円 ～

厚生労働省では、このほど、平成 23 年「賃金構造基本統計調査（初任給）」の結果を取りまとめましたので、公表します。

「賃金構造基本統計調査」は、全国の主要産業に雇用される労働者の賃金の実態を、雇用形態、就業形態、職種、性、年齢、学歴、勤続年数および経験年数別などに、明らかにすることを目的として、7月に実施しています。

そのうち今回は、新規学卒者の平成 23 年初任給（6 月分）についての集計結果で、対象は 10 人以上の常用労働者を雇用する民間の事業所のうち、新規学卒者を採用した 13,534 事業所です。

【調査結果のポイント】

1 学歴別にみた初任給

大学卒の初任給は男女とも前年から増加に転じ、高校卒の初任給は男女とも前年を下回る。

【P 3・第 1 図、P 4・第 1 表、P 8・付表 1】

大学卒		高校卒	
男女計	202,000 円 (前年比 2.3%増)	男女計	156,500 円 (同 0.8%減)
男性	205,000 円 (同 2.3%増)	男性	159,400 円 (同 0.8%減)
女性	197,900 円 (同 2.3%増)	女性	151,800 円 (同 0.9%減)

2 企業規模別にみた初任給

大企業（常用労働者 1,000 人以上）および中企業（同 100～999 人）では、大学卒の男女で前年を上回り、小企業（同 10～99 人）では、大学卒、高校卒の男女で前年を下回る。

【P 5・第 2 表】

	大企業	中企業	小企業
大学卒 男性	207,500 円 (前年比 3.1%増)	206,300 円 (同 3.3%増)	194,300 円 (同 2.8%減)
女性	207,100 円 (同 6.5%増)	195,800 円 (同 1.2%増)	185,300 円 (同 3.2%減)
高校卒 男性	160,300 円 (同 0.2%増)	158,600 円 (同 0.3%減)	159,800 円 (同 2.4%減)
女性	155,900 円 (同 0.4%減)	151,700 円 (同 1.1%減)	149,100 円 (同 1.3%減)

3 産業別にみた初任給

最も初任給が高かった産業は、大学卒では、男女ともに「学術研究、専門・技術サービス業」（男性 248,300 円／女性 227,700 円）。高校卒では、男女ともに「生活関連サービス業、娯楽業」（男性 172,000 円／女性 161,900 円）。一方、最も初任給が低かった産業は、大学卒では、男性は「医療、福祉」（192,200 円）、女性は「宿泊業、飲食サービス業」（185,400 円）。高校卒では、男性は「医療、福祉」（143,900 円）、女性は「サービス業（他に分類されないもの）」（142,800 円）。

【P 6・第 3 表】

4 初任給の分布

大学卒の初任給は、男女とも 20 万円台が最も多く（男性 32.6%／女性 23.9%）、高校卒の場合は、男性では 16 万円台（34.2%）、女性では 15 万円台（23.8%）が最も多い。

【P 7・第 4 表】

詳細は、別添概況をご覧ください。